

映画「そらのレストラン」関係者ら戸田へ

せたなと埼玉縁深く

戸田中央総合病院 出身の中村さん訪問

北海道せたな町が舞台で、いま全国ロードショー中の映画「そらのレストラン」(深川栄洋監督)のプロデューサー伊藤亜由美さんが、戸田市の戸田中央総合病院に同医科グループの会長で、同町出身の中村隆俊さん(91)を表敬訪問した。伊藤さんは、主演する大泉洋さんの所属事務所の代表も務める。大泉洋さんの兄、大泉潤さんも同行した。

(岸鉄夫)

弟げんかをしたことがない。弟はテレビではいろいろほやいたり、あんな風に言っているけど、家族思いのとても優しい人間です」と話していた。潤さんは2日に東京で開催の

同郷人の会「道南会」に出席する工藤寿樹市長に随行。函館市観光大使の中村さんを表敬するため、伊藤さんに同行した。

伊藤さんは「素晴らしい街の様子、海や山のおいしいごちそうがたくさん登場します。映画は韓国や米国での上映も決まっている。せたな町の素晴らしい人々、自然のことを世界に発信したい。ぜひ、埼玉の皆さまにも映画を見ていただき、せたなへ来てほしい」と話した。

映画は大泉洋、本上まなみ、岡田将生さんらが出演。緑の牧草地の向こうに海が見えるせたな町の景観の中で、牧場やチーズ工房、漁業などで働く町の人たちの心温まるドラマが展開する。

伊藤さんの説明を聞き、テレビ画面で映画を見て、中村さんは「私が今あるのはせたなのおかげなんだ」と語り、故郷を懐かしんでいた。故郷への万感の思いが込み上げていたようで、涙を見せた。

中村さんはせたな町で生まれ、高校時代は函館市に下宿し、北海道大学医学部時代は札幌市に住んだ。青春時代を

過ごした北海道との縁を大事にしている。せたな町応援大使、函館市観光大使も務める。

中村さんは最近、せたな町に町民プールを寄贈し、建設中。高橋貞光町長から感謝状が贈られた。日本の女医の草分け、熊谷市出身の荻野吟子(1908年)まで8年間、せたなで病院を開業しており、せたなと埼玉との縁も深い。中村さんのせたな応援大使の名刺には荻野吟子の肖像画が印刷されている。

一方、大泉潤さんは大泉洋さんの兄で函館市の観光部長。潤さんは「うちには二人兄弟。弟の洋とは七つ違いで兄



中村隆俊さん(右)と握手する伊藤亜由美さん。左は大泉潤さん=1日、戸田市